

人と地域を育み、つなげる場：公立文化施設の現場からレポート

2021年2月8日(月)に、吹田市文化会館(メインアター)小ホールで、大阪アーツカウンシル主催のシンポジウムを行いました。



ご挨拶

冒頭では総会司会の大阪アーツカウンシル統括責任者・中西美穂の挨拶について、「新型コロナウイルス感染症拡大影響下における大阪市内の公立文化施設のネットワーク状況等調査 報告書(速報版)」のアンケート調査結果速報を紹介しました。

第1部：基調講演

なぜ文化への公的支援が必要か
公立文化施設の可能性

第1部では大阪府市民文化振興会副会長・静岡文化芸術大学教授の片山泰雄氏より「なぜ文化への公的支援が必要か・公立文化施設の可能性」と題した基調講演が行われました。



第2部：事例報告

コロナ禍における多様な取り組み

第2部では、門真市民文化会館(ルミエールホール)副館長・奥島美穂氏より「かどまほりホール」12万羽プロジェクト、八尾市文化会館(ブルームホール)舞台事業組リーダー・首藤博之氏、日笠紀史氏より「バックステージアール」、大阪府立江之島文化芸術創造センター[enoco]企画部門チーフディレクター・高坂玲子氏より文化庁「文化芸術活動の継続支援事業」の事前確認番号認証作業に携わった報告がありました。モデレーターは大阪アーツカウンシル委員で伊丹市立文化会館(里りいたみホール)館長・権田康行が務めました。

Symposium Report



第4部：トーク

未来の大阪をつくる公立文化施設：ネットワークをてがかり

第4部では、東大阪市文化創造館副館長・岡本友厚氏がモデレーターを務め、堺市民芸術文化ホール(フェーチェ期)主宰(事業担当)・新熊章氏、箕面市立西南生学習センター館長・森七恵氏、河内長野市立文化会館(ラブリホール)事業独自の山田倫香氏が、それぞれの館や、各館独自のネットワーク(飯島治郎や、公立文化施設協会、自治体との関わり等)について紹介し、各館の活動におけるネットワーク活用の重要性や、それぞれの将来に向けた思いを話しました。



第3部は演劇を上演しました。これは大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)統括責任者・植田宏美氏と、大阪府立芸術創造館館長・重田龍佑氏のコーディネートのもと、脚本家の鈴木隆氏によって創作されました。

第3.5部：ちょっと立ち話
"自然史系"のつながりは持続可能!?

第3.5部は、泉州・紀北ミュージアムネットワーク副代表、まじわだ自然資料館学委員の風間美穂氏に、大阪アーツカウンシルの中西が話を聞きました。

第3部：演劇
2020年、受付窓口のこころ



大阪アーツカウンシル活動報告 2020.4/1-2021.3/31

2020(令和2)年度は、芸術活動において世界レベルで大きな転換があったと、誰もがいざれ思ひ出す1年でした。理由には新型コロナウイルス感染症拡大です。人々が集まり、互いに触れ合うことから、拡散される未知なるウイルスによって、人々が集まり、心身ともに触れ合うような体験ができる芸術活動は制限されるようになりました。少しずつ対策がなされてきたものの、2021年3月現在も、かつてのような自由闊達な芸術の場がひらかれ、人々が行き交っている状況とは言えない。そのような1年でしたから、芸術的な創造活動を生業とする芸術家やクリエイター、それらと深い関わりがある各種産業は、例年通りの活動がなく大きな経済的打撃を受けました。また同時に、芸術を愛する多くの人々にとって、自由に芸術鑑賞し、文化を語り、芸術によって勇気づけられ、気分転換するといった機会が激減しました。何かしらの芸術に気軽に関ることができないこの1年間、何度も救済し気持ちが湧き上がったのは私だけではないはず。一方で、この機会にインターネットを活用してデジタル表現を試みる芸術団体や、長期的な視野で孤独に創作に挑むクリエイターもあり、新しい表現方法や芸術に関する思考がつかない規模と速度で変化していることも確かです。

この紙面をご覧いただいた通り、1年間の大阪アーツカウンシルの年間活動報告に記載する、私たちが関わったトークイベント等の数は減少しましたが、補助金・助成金の審査を通して関わった芸術文化活動数は激増しました。新型コロナウイルス感染症拡大の中、大阪で芸術活動を行いたい!と多くの方々が強く思っていることあらわれたと考えています。新しく2021年度から5年間の大阪の文化の方針を決める「第5次大阪府文化振興計画」ならびに「第3次大阪府文化振興計画」が、大阪府市民文化振興会議(大阪アーツカウンシルはこの会議の部会)からの答申を踏まえ、大阪府・大阪市により、それぞれ策定されました。ここでは府市民共通的ビジョン「文化共創都市大阪」を目指す将来像としています。これは府民・市民、芸術家、文化団体、企業、行政、その他の大阪に関わる全ての人々と「共に創る」という意味です。あらためて立場を超えて、大阪の文化を共に創って行こうとのメッセージを打ち出しています。この計画にも注目いただければと思います。最後になりましたが、大阪アーツカウンシルの評価・審査、調査、企画等において、ご協力いただいたみなさまに心から感謝を申し上げます。引き続き、さまざまな場面で、ご意見やご協力いただければと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

この紙面をご覧いただいた通り、1年間の大阪アーツカウンシル

の年間活動報告に記載する、私たちが関わったトークイベント等の数は減少しましたが、補助金・助成金の審査を通して関わった芸術文化活動数は激増しました。新型コロナウイルス感染症拡大の中、大阪で芸術活動を行いたい!と多くの方々が強く思っていることあらわれたと考えています。新しく2021年度から5年間の大阪の文化の方針を決める「第5次大阪府文化振興計画」ならびに「第3次大阪府文化振興計画」が、大阪府市民文化振興会議(大阪アーツカウンシルはこの会議の部会)からの答申を踏まえ、大阪府・大阪市により、それぞれ策定されました。ここでは府市民共通的ビジョン「文化共創都市大阪」を目指す将来像としています。これは府民・市民、芸術家、文化団体、企業、行政、その他の大阪に関わる全ての人々と「共に創る」という意味です。あらためて立場を超えて、大阪の文化を共に創って行こうとのメッセージを打ち出しています。この計画にも注目いただければと思います。最後になりましたが、大阪アーツカウンシルの評価・審査、調査、企画等において、ご協力いただいたみなさまに心から感謝を申し上げます。引き続き、さまざまな場面で、ご意見やご協力いただければと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

この紙面をご覧いただいた通り、1年間の大阪アーツカウンシル

大阪アーツカウンシル統括責任者 中西 美穂



編集・発行：大阪アーツカウンシル事務局
大阪府府民文化局文化・スポーツ室文化課
〒559-8555 大阪府住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎(さきよこモスタワー)37階
TEL 06-6210-9305 FAX 06-6210-9325
E-mail: bunka@osaka.pref.osaka.lg.jp
URL: https://www.osaka-arts-council.jp/



統括責任者

中西 美穂

部会委員

2020(令和2)年度

古根 奈緒子・権田 康行・志村 聖子・山中 俊広

事業担当委員

2020(令和2)年度

小暮 聖輔(令和2前期)・松岡 美也子(後期)

渡辺 昌明(令和2後期)

大澤 寅雄・榎木 典子

府補助金事業担当

2020(令和2)年度

稲垣 智子・江藤 まち・小田 寛平・西山 広志・野島 貴章

三村 啓示・山本 佳奈子・横原 千寿・若旦那 家康

発行日：2021(令和3)年3月

デザイン：タカタツヤ



OSAKA ARTS COUNCIL